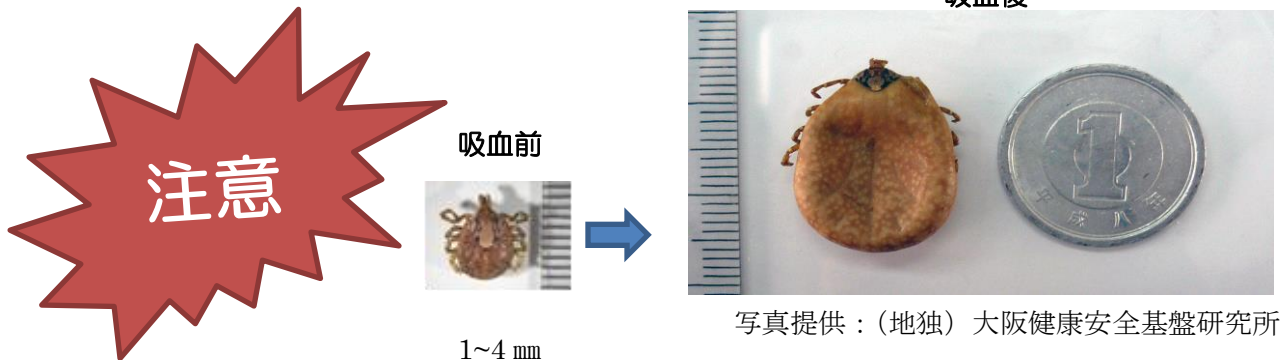


マダニに注意しましょう！

藪や草むらに入る時はマダニに刺されないように注意しましょう。
マダニに刺されるとSFTS（重症熱性血小板減少症候群）や
日本紅斑熱、つつがむし病などの病気に感染した報告があります。

吸血後



★マダニにはいろいろな種類があり、色も様々です。吸血後に小豆大～1円玉大に大きく変化します。

マダニに咬まれないために

- ★草むらなどに出かける時は、**長そで、長ズボン、絞り口付き長靴等**を着用し、肌の露出を少なくしましょう。
- ※裾を長靴に入れる、靴下をズボンの上から重ねて履くなど、隙間からマダニが入り込まないような服装を心がけましょう。
- ※靴や服の上から虫除けスプレーをかけることは効果があります。

野外活動したあとは

- ★家に入る前に作業着などを脱ぎ、マダニなどを**家に持ち込まない**ようにしましょう。
- ★草むらから帰った後は、すぐに入浴し、身体にダニがついていないか確認しましょう。

マダニにかまれたら・・・

- ★マダニは、皮膚に口を突っ込んで吸血するので、無理に引き抜くと先がちぎれて体内に残ります。吸血中のマダニに気づいたときは、早めに医療機関で処置してもらってください。
- ★マダニに刺された後、**1～2週間**は体調の変化がないか注意し、**発熱、頭痛、発疹等**の症状があった場合は、医療機関へ受診しましょう。（医療機関の受診の際には、マダニに刺されたと担当医師へお伝えください）